



横浜国際保健シンポジウム

～横浜からの国際保健協力について考える～

横浜市立大学は今年度に医学部創立 70 周年を迎えたのを記念して、開発途上国での医療支援など、国際保健協力活動について考える「横浜国際保健シンポジウム」を、8月30日(土)に開催いたします。

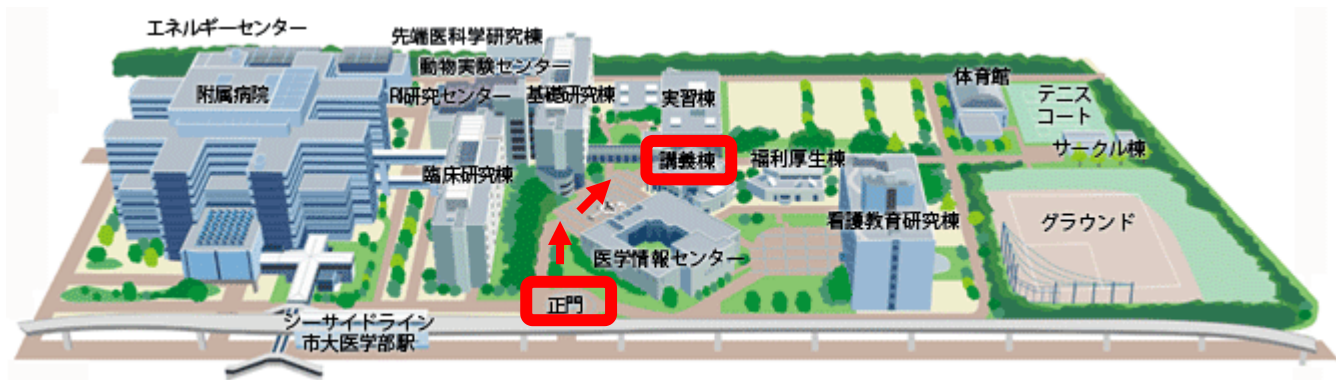
シンポジウムでは、本学医学部出身で、本学のほか他大学や研究機関等で活躍中の OB・OG を講師に迎え、「国際保健の現状と課題を知り、協力・貢献していくには、どのような知識、経験、技術、職務遂行能力が必要なのか」などについて、講演やディスカッションを行い、今後の国際貢献活動に役立てるのが狙いです。

日 時： 平成 26 年8月30日 土曜日 11:30～17:00

会 場： 横浜市立大学 福浦キャンパス ヘボンホール（講義棟1階）

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

シーサイドライン「市大医学部」駅下車



聴講希望の方は、当日、福浦キャンパス正門から入り、講義棟1階へ直接お越しください。

(配布資料準備のため、事前に倶進会事務局までお申し込みください/無料) プログラムは裏面参照

主 催 / 倶進会(横浜市立大学医学部医学科同窓会)

後 援 / JICA(独立行政法人国際協力機構)横浜、公立大学法人横浜市立大学

【事前申込み：シンポジウムに関するお問い合わせ】

倶進会(ぐしんかい)事務局 TEL:045-785-9338 FAX : 045-785-9328

Email: gushin@med.yokohama-cu.ac.jp

YCU
横浜市立大学

裏面あり

横浜市立大学医学部創立70周年記念 横浜国際保健シンポジウム

【主催】横浜市立大学医学部医学科同窓会倶進会

【後援】JICA（独立行政法人国際協力機構）横浜
公立大学法人横浜市立大学

【日程】2014年8月30日（土）

【会場】横浜市立大学福浦キャンパス ヘボンホール

プログラム

第1部：11:30～13:00 ポスター展示（ヘボンホール ホワイエ）

国際保健に関するポスター展示

- ・JICA 横浜
- ・横浜市立大学海外フィールドワーク支援プログラム
（ブラジル日系永住者巡回診療健診実習他）
- ・長崎大学国際健康開発研究科
- ・国立保健医療科学院国際協力研究部 ほか

第2部：13:00～16:20

13:00 開会

あいさつ 平原史樹 横浜市立大学 理事 附属病院長
遠山慎一 倶進会（医学部医学科同窓会）会長

13:10～13:50 基調講演

座長：石井則久 国立感染症研究所ハンセン病研究センター長

「国際保健医療に貢献する」

遠藤弘良 東京女子医科大学国際環境・熱帯医学講座教授

14:00～16:20 シンポジウム

座長：水嶋春朝 横浜市立大学医学部社会予防医学教室教授

遠山慎一 倶進会（医学部医学科同窓会）会長

「災害医療支援への貢献」（25分）

堀内義仁 横浜市立市民病院皮膚科科長

「母子保健領域における国際協力」（25分）

松井三明 長崎大学国際健康開発研究科准教授

「国際保健で活躍する看護職」（25分）

大澤絵里 国立保健医療科学院 国際協力研究部主任研究官

「学生時代に経験した国際保健医療」（25分）

鳥羽直弥 横浜市立大学医学部医学科6年

総合討論（40分）

16:20 閉会

17:00 情報交換会（於 看護棟生協食堂）

＜参考＞ 横浜市立大学医学部の歩み

昭和19(1944)年 横浜市立医学専門学校設置

昭和22(1947)年 旧制大学に昇格 横浜医科大学となる

昭和27(1952)年 横浜市立大学と統合 医学部(医学科)を設置

平成17(2005)年 看護短期大学部を医学部に統合、2学科(医学科・看護学科)体制となる